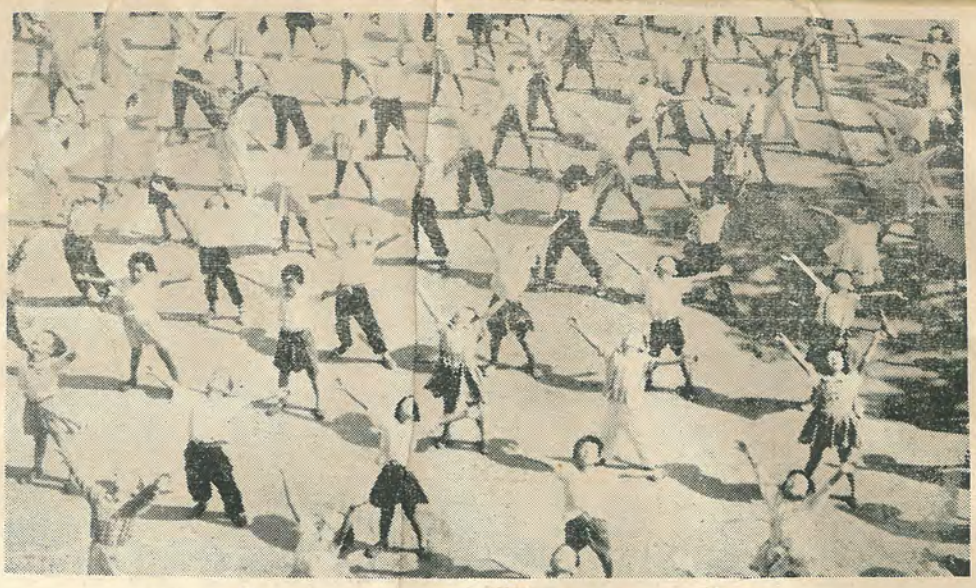
蓬門

蓬田村公民館報
「蓬門」
第38号

発行所
青森県東津軽郡
蓬田村公民館

印刷所
蟹田印刷所



この子等は、
この子等は
正しい教育の
姿勢にもとづき
姿勢正しく、
すく〳〵と
伸びて行く
村の宝、国の宝
村を動し、国を動す
原動力の保有者
新玉の年を迎え、
愛の手で
いつくしみの手で
十幾星霜見守つ
この子等、
村の宝、国の宝

…豊水…

新年のことば

蓬田村長　武井一郎

謹しんで村民の皆様に新年のご挨拶を申上げます。

旧年中は村政のけじめとも年の新春を迎えるにあたり、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

本村としてまず考えさせられることは、もつとも多い財政の基盤である農業技術の向上であると信じます。近頃出稼労務者の多い今日労働力の面では言うに及ばず、就中昨年以上の冷害危険性のある年と伺つていますがそもそも農家にあつては、多種多様にご苦労せられていることは申すまでもありません。

ご理解をいただき、総てが円満に整理されて参りましたのも村のご挨拶を申民各位のご協力の賜と深く感謝申上げます。

言う、財政の確保に将又諸事万端、村議会及び各機関を経て県と密接なる提携をなし、良識と

去る十二月十二日蓬田村議会が召集され、会期を六日間と定め、三十七年度一般会計、特別会計決算を審議承認され、更に、第七日、八日間

十二月定例議会開く

三十七年度決算承認さる

一般会計繰越額　六百五十万円

大正二年の凶作年次に等しい気象条件にあるときに品種の選択と施肥改善管理防除などが合致せればならんことになります。

一概にすべては出来ないまでも経営を豊ならしめるためにはまだまだ基本から考えて行く必要があると思います。村政の重責を擔つて以来、八ヶ月も経過しましたが、身心を新に村政行政に及ばずとも、発展を期する為にも皆様方の健全なるご意志にあると信ずるものであります。

いかに散慢なこと柄を要求されても村としては財源にも限りあり、昭和三十三年以来考朽又は危険校舎と、県並に文部省よりかれて数回勧告を受けつつある統合説も五ヶ年間この方、放任されて参りましたが、その状態は昭和三十六年度において中沢校は一万点を対象とした場合四十百三十点、蓬田校にあつては四千五百点と何れも新築もしくは改築を要するものであります

過去昭和三十三年にはこの二校統合が議決されており、以来諸種の条件が問題としてゆき悩み現在に及んだものでありますが結局敷地などが最もな難点であつて、これについても議会を併せ調査を行なつている訳であります。

時世の趨きに呼応して懸案の問題は村民各位のご理解と村議会の潔白なる良識等を得て実際に朽乏せる本題を解決して堅実に諸行政を円滑ならしめたい所存であります。

それにしても皆様方を代表する議会を尊重して、村財政の出来得る範囲内において最大の効果をあぐべく覚悟であります。

その他村政全般にわたり充実と改善に最大の努力を傾けたい所存でありますので、何卒倍旧のご指導とご援助を賜りますようお願い申上げ、明けゆく本年は全村民健やかにして最良の年でありますよう心からお祈りしてご挨拶と致します。

×

女子青年建設班開講さる

一般の要望に応えあみもの教室新設す

三十八年度女子建設班開設について先に開かれた臨時村議会において開設の承認を得、その裏小学校長の好意により一室を与付予算を議決、十一月中に開設えて貰い、整備の上三年がかりで準備も終て十二月二日開講の運の要望に応えることが出来た。

今年は特にあみもの教室を併設し、その強化を計つた点は特質と云えよう。

あみもの教室は、和洋裁学級開設当時から、その併設の呼声があつたが、収容する教室がなく

今日まで要望に応えることが出来ずに来たが、幸い名古屋蓬田小学校長の好意により一室を与え貰い、整備の上三年がかりで十二月二日開講の運の要望に応えることが出来た。

なにせ県下に一つしかない女子の勉強の場ゆえ他町村の羨望を浴びながら毎日勉強にいそしんでいる。

補導員　坂本明子先生、
講師　和裁　名古屋そよ先生、
洋裁　下山幸子先生、

あみもの　越田恵津子先生

選挙管理委員会組織会終る

委員長　柿崎喜代作

村選管委員が任期満了により、十一日臨時村議会において推選承認された各委員は、去る十二月七日組織会を開き委員長柿崎喜代作氏を選任した。

委員長　柿崎喜代作
委員　川島勝男
委員　村上弥五郎
委員　山舘定五郎

蓬田村ポンプ自動車入魂式

十一月十八日十時蓬田小学校校庭において蓬田村ポンプ自動車の入魂式を行う。

購入価格一、六八〇、〇〇〇円
車台及び機関名称
一九六四年式トヨタFJ四五
消防シャシー

ポンプ型式、規格
複式高圧三段タービンA二級

役場印章規定改正

一月一日より役場印章を改定横彎きにしたからよろしく。

蓬田小唄

吉田桃里
（在六ヶ所村幸畑）

一、花ならば　蓬田に咲け
　　アノ嵐なら
　　此処の人情にや
　　白浪の
　誰もネ　誰も知らない
　　とこに吹け
　　コノ嵐なら
二、百千鳥　唄い里人
　　アノ黄金花
　　空は青空
　　白雲の
　僕もネ僕も　踊りの
　　輪になろか
　　コノ黄金花
三、さくらばな　まねくかさ松
　　アノ花の宴
　　陽も早や西か
　　白露の
　老もネ　老も若きも
　　観音も
　　コノ花の宴
四、玉松や　沖行く船の
　　アノ舟しるべ
　　着いて見やんせ
　　白砂の
　　君をネ　君を松風
　　外が浜
　　コノ舟しるべ
五、名月に　みのり捧げて
　　アノ幸の村
　　そぞろ歩きは
　　白宵の
　あなたネ　あなたまかせの
　　影のよさ
　　コノ幸の村
六、上人の　み手を入れたる
　　アノ弥陀の川
　　今も流れて
　　白妙の人
七、堀の水　時は流れて
　　アノ夕時雨
　　縫ふや木草を
　　白糸の
　姫よネ　姫よ大舘
　　小舘原
　　コノ夕時雨
八、梵珠山　眺め連らなる
　　アノ愛（いと）錦
　　それも何時しか
　　白雪の
　織女ネ　織女（おりめ）
　　いづこぞ
　　夢のをさ
　　コノ愛錦

謹賀新年

昭和三十九年元旦

蓬田村長　武井一郎
助役　田中一雄
収入役　八戸倉次郎
固定資産評価運管委員長　柿崎喜代作
外職員一同

蓬田村教育委員会
委員長　細谷与三郎
委員　久慈留太郎
坂本甚吾
八幡邦雄

教育長　森光秀
公民館長　坂本豊水
連青団長　下山嘉幸
婦人会長　森みさ

村議会議員（順不同）
議長　清水専造
副議長　越田長太郎
議員　坂本貞教
坂本孫九郎
松本倉五郎
藤本清太郎
倉谷初太郎
森初男
八戸要助
武井己之吉
大宮金助
加藤喜代作
山舘誠弘
久慈倉雄

三十九年度成人式
一月十五日例年通り行う
大人の仲間入り九十五名（一二月二十日現在）

昭和三十九年度、成人になる名簿作成を急ぎ、この程十二月二十日を以て完了した。蓬田村に在住する大人の仲間入りする有資格者は九十五名となつた。

これ等の若人達を村民こぞつてお祝いすべく、来る一月十五日成人の日を記念し、蓬田小学校女子青年建設班教室においてお祝いすることになりました。当日は成人になられる方は全員出席、成人となられたことを自覚し、社会人としての第一歩を記念下さるよう御願い申し上げます。

今迄成人になられるまで育成下さつた父兄の方々も当日出席し共々お祝い下さるよう御案内申し上げます。

左記の名簿から洩れている方があつたら遠慮なく公民館事務局まで申し入れ願います。

成人名簿

氏名	世帯主	住所
藤田 三上 尚政	吉田 勇亟 正志	山谷 憲雄
吉田 竜一	三上 フ子	〃
佐々木セツ	繁 勘太郎	〃
三上 初太郎	繁太郎 ミワ	〃
貞四郎	八 雄	〃
森田	吉田	中沢
吉田	森戸	〃
森田	藤木	〃
兼一	八尚斉	〃
飛太郎	森百栄	〃
甚五郎	勝吉作	〃
勝太郎	武太男	〃
玄策	勝太郎	〃
仁三郎	亥ア サ	〃
平八郎	友三郎	〃
友三郎	俊郎	阿弥陀川
俊正	俊郎	〃
松一郎	喜三郎	〃
喜三郎	清代作	〃
清代作	保澄ン	〃
保澄ン	由五郎	〃
由五郎	市郎	〃
市郎	由吉	〃
勝吉	勝男	〃
文一	弥作	〃
弥作	重郎	〃
重郎	昭夫	〃
昭夫	む つ	〃
惣吉	金之助	〃
藤田	藤本	長科
藤本	藤本	〃
藤本	藤本	〃
藤本	藤本	〃